

思考が現実化する。100%例外なく!

TAWPRESS

No. 32
2014.3

国際TAW協会会報誌 <http://www.taw.ac/>

TAWは人生運転メソッド — TAW受講生の感動ストーリー

バンコクに美容室を出店する 夢が叶いました!

自分の中のブロックが
外れて新しい自分に
出会いました。



canna 代官山・canna バンコク 代表
五十嵐洋子 さん

今月のTAWプレスは、TAWを仕事に活かして成果を上げている
皆さまの体験談をお届けします。

まずは、起こる出来事をすべて自分のこととして自分を変えることで、
海外出店を果たした五十嵐洋子さんからお聞きしたお話です。

■ すべて私が作り出した現実

結婚して10年、夫婦で恵比寿と代官山に2店の美容室を経営し、たくさんのスタッフに囲まれて仕事も忙しく、順調そのものといえました。外から見たらそうですが、私の中では完全に行きづまっていたのです。代官山店を任されてはいたものの、疎外感が強くありました。

「がんばっているね」「良くやっているね」という言葉が聞きたいのに、スタッフからは「違うんじゃないか」、主人からは「もっとやれるんじゃないか」という批判の声ばかりが耳に入り、毎日フラストレーションを抱えてたのです。

現状から逃げたい気持ちもあったのでしょう。環境を変えたら私も変わるのではないかと、海外に出店したいと思うようになりました。

海外出店を目標にしてみると、自分の中のブロックを外さなくては、そこには行けないと感じました。2年前に主人がマスターTAWを受講してガラッと変わったので、私も変わりたいと思い、2012年4月からマスターTAWの入門を受講し、上級まで受けました。

TAWでは、「現実とは自分が作り出している」と学びました。私は自分が楽しくないのも、やりたい事ができないのも、思ったようにいかないのも全部人のせいにして、一歩踏み出せない自分を責めては、なんでこんなに辛いのかと思ってきましたが、それらはすべて私が作り出した現実であると知り、私は人のせいにするのをいっさいやめることにしました。今見えているもの、見えている人たち、聞こえてくる言葉もすべて、私から発せられたものなのだと心に刻んだのです。

「まず自分が下がってみる」とTAWで学んで、それを心がけると、敵対心の塊のようだった私が、周囲に対して「ごめんなさい」と



canna 代官山

思えるようになりました。これはとても大きな変化でした。

■ 周りとの関係が変わる

主人から仕事のことで注意されると、今までは「なんで私が怒られるのだろう」と思ってきましたが、それは感情の先走りで、主人の言葉をちゃんと聞いていなかったのだと気づきました。主人は怒っているのではなく、大事なことを説明して、教えてくれていたのだとわかり、主人に対して「わかっていなかった。ごめんなさい」と謝ることができました。



代官山のスタッフたちと

また、ずっと避けてきた両親との関係も変わってきました。両親のことは大好きではあるものの、心の中で両親みたいにはなりたくないと思っていました。それが、私が好きなことをするのを常に許して陰でサポートし、愛情を注いでくれていたことに気づき、両親のおかげで自分があり、「この親の元にまた生まれたい」と心から思えた時、深く両親を尊敬することができたのです。

スタッフに対しても、私が一番偉い存在でありたかったのですが、私がお店を回しているという思いを変えられなかったのですが、スタッフたちを輝かせるほうに自分が動こう、彼らがいるから私があると思うようになると、スタッフの良い所が見えるようになり、疎外感から連帯感を感じられるようになりました。

その他にも目に入るさまざまな現象に、「このやり方は私がやっていたこと……」とTAWの考えに沿って考えるようになりました。たとえば、お金の扱い方で人からイヤな思いをさせられた時も、「あっ、これは私が過去にやったやり方なのか、お金をぞんざい

にしていたのは自分だ」と捉え、お金の使い方や扱い方を考え直すようにしました。

すべて自分に落とし込んで、自分を修正していくと、私の中の「常に人から批判されている、私ひとりでは頑張らない」というブロックが外れていきました。感情がクリアになっていき、ネガティブな思いを持っていた過去の自分が淘汰されて、新しい自分ともいえる、前向きな考え方ができる自分と、人と喜びを共有する楽しさが出てきたのです。

海外出店に関しても、逃げのためではなく、純粋に「私はやりたい」「世界に出たい」という思いが生まれてきました。

■ 1年前に書いた目標が叶う

TAWの講座を受けた時に、「5ヵ年計画」というワークで、「2013年5月にバンコクに店をオープンする」と目標を書きました。

20年前に初めて海外旅行でバンコクに行って以来、バンコクは何度も訪れた大好きな場所で、現地に住む日本人も多く、マーケットとしても大きな可能性を秘めていると思えました。

しかし、「今年はバンコク進出!」と思った矢先、2013年1月の時点で、代官山店は5人いたスタッフのうち4人が続けざまに辞めてしまい、私の他に残るスタッフは1人となってしまいました。それでもTAWを学んで私自身が変わったことで、周囲の人間関係も入れ替わるのを感じて、バンコク進出をあきらめることはありませんでした。過去の自分のように独立志向の強いスタッフ達でしたので、お互いにそれで良かったのでしょうか。私は代官山店で新たなチームを作ろうと思えました。

とはいえ、「絶対に5月までにバンコクに出店する」と言っているのに、これではバンコクどころか、代官山店すら回せません。

さっそく私は「4月までにスタッフが4名入る」と紙に書き記しました。バンコクのサロンのことも書きました。「バンコクのサロンは光と緑が溢れる洗練された空間で、東京のスタッフもバンコクのスタッフも、みんなが美容師として生き甲斐を持って幸せな気持ちで働いている」と、望みの状況を具体的に何度も紙に書いて、常にそれを心に唱えるようにしたのです。

代官山店には、4月までに4名のスタッフが入りました。願った通りに欲しいと思っていた人材が集まり、すごくいいスタッフたちで嬉しくなりました。

バンコクの店は決まりかけた物件がキャンセルとなり、3月の時点でバンコク出店は白紙に戻ってしまいましたが、4月に入って気に入った物件が見つかり、契約を済ませることができました。オープン日は7月7日です。5月末には開店準備に向けて渡航できたので、1年前に5月に店を出す書いたことがほぼ実現できたと思っています。

バンコクの店が軌道に乗るまで、月のうち3週間はバンコク、1週間は東京の店に出ています。今のところお客様はほとんど日

Bangkok

バンコク風景

本人ですが、タイ語が話せる日本人スタッフも入ったので、いずれは店を任せて、私はまた違う目標に向かいたいと思っています。

■ お互いを高め合うTAWの仲間たち

私がTAWの考え方を自分に落とし込んで、生活の中で活かしていったのは、TAW友のおかげだと思っています。中級を一緒に受けた仲間、講座が終了してから現在も毎月集まってミーティングをしています。8名ほどのメンバーのうちいつも4、5名は集まり、近況報告をしたり、お互いに修正し合ったり、次の目標を語ったり、自分たちで課題を作ってワークをしてきました。

フェイスブックやLINEで、仲間たちのやりとりや、次の目標やワークの課題を書いてくれるので、自分が参加できなくても書き込みをしたり、次回までの目標や課題をクリアしていけました。

これがとても大きかったと思います。真面目で一生懸命な仲間たちと切磋琢磨しながらTAWを学んできたから、私も夢をあきらめずに、ここまでTAWを実践してこれたのだと思います。TAW友は本当に大事な仲間です。

■ 楽しみは膨らんで

バンコクに店を出すのが夢でしたが、目の前のことがどれも新しい体験ばかりでおもしろく、今本当に自分の人生を楽しめていると感じています。様々な国の、グローバルに起業している方や、大きなビジネスに携わっている方など、東京では会ったことのないタイプの方たちと出会うことが多くなりました。そのような方達と同じように行動したら、もっと大きな夢を叶えられるのだらうなど、いい刺激を受けています。

バンコクでもTAWを日々仕事や生活に活かしています。お客様への接し方、スタッフの教育、具体的

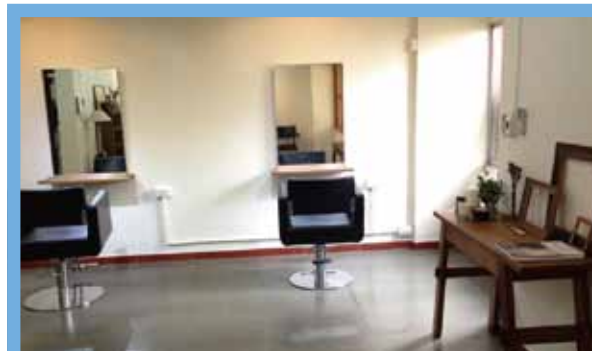
な売り上げの目標もそうですし、主人とのさらなる夢に関しても、TAWの考え方に沿って現実化していこうと思っています。

今では、ことあるごとに親への感謝があふれてきますし、主人への感謝、スタッフや友人への感謝を感じるたびに、温かく幸せな思いで満たされます。

自分の今のあり方も全部自分が決めているのだし、自分がすべてコントロールできるのだと実感すると、自分が動いたら動いた分だけ、自分の世界は広がっていくのだとわかりました。そうすると楽しみは膨らんで、自分の未来がよりいっそう素晴らしいものに思えてくるのです。

Canna organic&hair design Tokyo/Bangkok
<http://canna-hair.com/>

●五十嵐洋子さんのブログ <http://ameblo.jp/igaigaguri/>



canna バンコク

